

第5章

計画の推進に当たって

- 1 進行管理
- 2 市民及び関係機関等との連携・協働

第5章 計画の推進に当たって

1 進行管理

本計画を着実に進行していくため、PDCAサイクル【Plan（計画）-Do（実施）-Check（評価）-Action（改善）】の考え方に基づき、毎年度、本計画に沿って施策を実施するとともに、成果指標の動向なども参考としながら、成果や課題を評価・検証し、その結果を次年度以降の施策の推進や改善に反映させます。

この進行管理に当たっては、「教育委員会事務点検・評価」を活用します。

2 市民及び関係機関等との連携・協働

未来を担う子どもを育み、市民一人一人が生涯にわたる学びを实践するためには、社会全体で子どもの成長と自立、市民の学びを支えていくことが必要です。

本計画の推進に当たっても、家庭・地域住民はもとより、大学等の教育機関、ボランティアの方々、企業などの多様な主体の協力と参画を得て、教育の更なる充実を目指します。

また、近年、子どもを取り巻く課題は複雑化・多様化しており、子どもの権利や福祉、地域づくりなどをはじめとした様々な観点から課題の解決を図っていく必要があります。

更に、市民の生涯にわたる学びにつながる取組は、子育て支援や、スポーツ・文化の普及・促進、環境教育の推進、国際化の推進など様々な分野にわたります。

こうしたことから、今後も札幌市の関係部局と組織横断的な取組を展開するとともに、国、北海道及びその他関係機関等と連携・協力を図っていきます。